

高校生アンケート調査結果の概要

1. 調査概要

調査対象	兵庫県立柏原高等学校 1～3年生
調査時期	令和5年11月15日～12月08日
調査方法	WEB アンケート調査

2. 調査結果要旨

設問の要旨	調査結果の要旨
地球温暖化・気候変動の問題に関心がありますか？	・77%の学生が「関心がある」「ある程度、関心がある」と回答しました。
地球温暖化や気候変動の影響を感じますか？	・温暖化の影響として80%の学生が「猛暑日や熱帯夜の増加」をあげており、市民意識調査と概ね同様の結果でした。
脱炭素社会を知っていますか？	・「よく知っている」と答えた学生は13%に留まりますが、「聞いたことがある」と答えた学生は69%にのぼりました。
脱炭素社会の実現に向けて、取り組みますか？	・「積極的に取り組みたい」(26%)、「ある程度取り組みたい」(67%)と、取り組みに前向きな意見が9割を超えました。
丹波市ゼロカーボンシティ宣言を知っていますか	・「よく知っている」(6%)、「聞いたことがある」(27%)に対し、「聞いたことはありません」が7割近くに及びました。
丹波市ゼロカーボンアクションを知っていますか	・「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」と同様、7割近くの学生が「聞いたことはありません」と回答しました。
節電などの日常生活での取り組み状況	・節電や節水、ごみ削減などの日常生活での取組については約9割の学生が「実施したい」と回答しました。
温暖化対策の日常生活への影響は？	・市民意識調査では49%の人が「わからない」「無回答」であったのに対し、51%の学生が地域課題の解決につながるなど「プラスの影響がある」と回答しました。
地球温暖化に関する情報をどこから得ていますか	・市民意識調査と同様、「テレビ、ラジオ」(74%)、「インターネット」(60%)から情報を得ているとの結果でした。 ・「学校の授業や教科書」との意見は38%に留まりました。

- 以上より、高校生は、脱炭素についての関心や取り組み意識は高いですが、情報が少なく、丹波市ゼロカーボンシティ宣言等の市の取り組みも浸透していない状況でした。
- 「温暖化対策の日常生活への影響」について、市民意識調査では「わからない」が大勢を占めましたが、50%の学生が「プラスの影響がある」とポジティブにとらえていました。